

近代フランスの外交と異文化理解 幕末日本と脱植 民地化期のアフリカ 第26回公開講座「国際文化 基礎講座」の備忘録を兼ねて

著者	野村 啓介
雑誌名	ヨーロッパ研究
号	14
ページ	153-153
発行年	2020-03-27
URL	http://hdl.handle.net/10097/00131606

研究紹介

近代フランスの外交と異文化理解 幕末日本と脱植民地化期のアフリカ

——第26回公開講座「国際文化基礎講座」の備忘録を兼ねて——

2019年11月9日、16日の両日、東北大学川内北キャンパス（マルチメディア棟6階）において、本学大学院国際文化研究科主催による第26回公開講座「国際文化基礎講座」が開催された。この公開講座は、毎年度おこなわれる研究科の恒例行事であり、一般市民を中心とする受講生を対象に、その都度の共通テーマに精通した本研究科の教員が講師をつとめる。

今回の共通テーマは「近代フランスの外交と異文化理解—幕末日本と脱植民地化期のアフリカ—」であり、次のとおり開講された。

11月9日（土）13:00～15:20 講師：野村 啓介

テーマ：フランス外交と幕末日本

—フランス外交官たちのみた「日出ずる国 L'Empire du
Soleil-Levant」—

11月16日（土）13:00～15:20 講師：池田 亮

テーマ：フランス植民地帝国の変容と植民地独立

—チュニジアとモロッコの事例から—

11月16日（土）15:35～16:35 ラウンド・テーブル

奇遇にも、今回担当した二名の講師は、本研究誌の刊行母体「ヨーロッパ研究会 European Studies Collegium」のメンバーであった。だとすれば、たとえば研究科広報誌あたりで掲載されるような、単なる開催記録にとどまらない著述を残す価値があるのではないか。そのような考えから、公開講座の備忘録も兼ねつつ、それぞれの講義内容を「研究紹介」のくくりで紹介することにした。願わくば、熱心な質疑応答が交わされ盛会となった当日の雰囲気的一端でも伝われば幸いである。